

東京2020オリンピック競技大会機運醸成について

(1) 東京2020参画プログラムについて<別添資料参照>

(2) 東京2020オリンピック競技大会機運醸成ポスターの掲示について

(東京2020参画プログラム認証「一宮町東京2020オリンピックおもてなし事業」)

【事業概要】

東京2020オリンピック競技大会に向け、町を訪れる方々への「おもてなしの心」を表現するA1ポスターを作製し、多くの町民や来訪者が目にする場所に掲示することで、町全体でオリンピックの機運醸成につなげます。



(3) 3年前イベント(千葉県・一宮町共催)について

(東京2020参画プログラム認証)

【事業概要】

東京2020オリンピック競技大会の開催3年前を記念し、7月24日に千葉県と一宮町共催による「3年前イベント」を釣ヶ崎海岸で行いました。

このイベントではプロサーファーによる実演や参加者およそ500人によるビーチクリーンを実施し、また役場1階にはオリンピックカウントダウンカレンダーを設置しました。



(4) 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーについて

【事業概要】

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会(以下「組織委員会」という。)主催による「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会フラッグツアー 一宮町学校訪問イベント」がGSSセンターで行われ、一宮小学校と東浪見小学校の5、6年生、一宮中学校の全生徒、一宮商業高等学校の1年生がオリンピックフラッグとパラリンピックフラッグの引継ぎセレモニーに参加しました。

このイベントでは東京2020アスリート委員である元ラグビー日本代表 大畑大介氏が登壇し、座学や実技を通して子ども達にオリンピックやパラリンピックの価値や東京2020オリンピック競技大会の魅力等を伝えていただきました。

また、同フラッグを9月6日(水)から8日(金)の午前中まで役場1階に展示しております。

※フラッグツアー…リオ2016大会終了後、東京都に引き継がれたオリンピックフラッグとパラリンピックフラッグが

7月24日から、競技開催都市である千葉県、埼玉県を皮切りに今後2年をかけて全国を巡回する。



(5) 街路灯へのオリンピックエンブレム付フラッグの掲出について (予定)

【事業概要】

一宮町内の街路灯に開催地のみ使用が可能となるオリンピックエンブレム付フラッグを掲出し、東京2020オリンピック競技大会サーフィン競技の開催地としての機運醸成を図ります。

フラッグイメージ図→



(6) 「東京オリンピック音頭—2020—」CDの貸出しについて

1963年に制作された「東京五輪音頭」を新たに現代版としてリメイクした「東京五輪音頭—2020—」のCDが組織委員会から町に3枚配布されました。

オリンピック推進課とまちの図書館で9月1日から貸出を開始しています。なお、イベント等で使用された場合には、組織委員会へ報告をするため、「イベント名」や「使用状況」のご報告をお願いいたします。

また、組織委員会では同公式サイト内特設ページ (<https://tokyo2020.jp/jp/special.ondo/>) にて、ミュージックビデオ及び振り付け解説動画を公開していますので、併せてご活用ください。

※「東京五輪音頭—2020—」CD使用に関する注意事項

- ・ <非営利><入場無料><出演者報酬なし>の3条件を全て満たすイベントについては無料で使用することができます。

それ以外は別途JASRACへの著作権使用手続きが必要となり、著作権料が必要となります。

- ・ 著作権使用手続きと著作権使用料お支払いは主催者様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

著作権使用に関するお問い合わせ先：JASRAC東京イベント・コンサート支部（03-5157-1162）

- ・ 「東京五輪音頭—2020—」CD、歌詞カード、振付けシートは、著作権上複製禁止です。



(7) オリンピック・パラリンピック教育推進校の指定について

千葉県内におけるオリンピック・パラリンピック教育（以下、「オリパラ教育」という。）を推進するため、今年度、千葉県教育委員会から東浪見小学校、一宮小学校、一宮中学校、一宮商業高等学校の4校が「オリンピック・パラリンピック教育推進校」に指定されました。

また、オリンピック憲章において、「オリンピズムはスポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するものである」とあるように、IOC（国際オリンピック委員会）は、教育プログラムの展開を特に重要視しており、6月13日には組織委員会が実施している東京2020教育プログラム「オリンピック・パラリンピック教育実施校」にも認証されています。

現在、各校では学校全体でオリパラ教育に取り組み、同時にオリンピック開催地としての機運醸成を担っています。